

第 2 号議案

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会

2024 年度決算（案）について

一般社団法人兵庫県社会福祉士会 2024年度決算(案)

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入金	350,000	595,000	△ 245,000
受取会費	31,686,000	31,685,000	1,000
会費	31,620,000	31,633,000	△ 13,000
準会員会費	6,000	12,000	△ 6,000
賛助会員会費	60,000	40,000	20,000
事業収益	70,173,000	74,758,144	△ 4,585,144
研修センター事業収益	19,711,600	13,665,900	6,045,700
広告収入	200,000	276,200	△ 76,200
受取補助金等	5,000,000	5,220,000	△ 220,000
受取寄付金	2,000	0	2,000
会員寄付金	1,000	0	1,000
その他寄付金	1,000	0	1,000
雑収益	5,000	184,918	△ 179,918
受取利息	1,000	38,211	△ 37,211
派遣調整手数料	3,000	0	3,000
その他雑収入	1,000	146,707	△ 145,707
経常収益計	127,127,600	126,385,162	742,438
(2) 経常費用			
事業費	76,178,084	74,156,360	2,021,724
給与手当	30,164,000	32,703,773	△ 2,539,773
賞与手当	470,000	470,000	0
事務消耗品費	5,710,500	3,471,989	2,238,511
備品費	26,000	14,724	11,276
印刷製本費	3,035,500	3,284,468	△ 248,968
通信運搬費	2,481,400	2,378,405	102,995
光熱水費	180,000	187,994	△ 7,994
租税公課	0	13,600	△ 13,600
保険料	7,000	5,550	1,450
賃借料	3,032,900	2,383,592	649,308
リース料	1,224,000	1,293,179	△ 69,179
支払負担金	2,265,000	2,180,800	84,200
交際費	62,800	69,700	△ 6,900
業務委託費	1,084,500	998,300	86,200
支払手数料	134,700	334,834	△ 200,134
保守料	374,000	391,575	△ 17,575
諸謝金	15,612,100	14,970,977	641,123
講師交通費	1,736,000	1,063,362	672,638
スタッフ日当	5,286,400	5,666,337	△ 379,937
スタッフ交通費	2,619,100	1,520,653	1,098,447
研修費	324,000	267,717	56,283
新聞図書費	176,000	101,728	74,272
減価償却費	0	280,353	△ 280,353
雑費	172,184	102,750	69,434
管理費	50,905,000	51,795,853	△ 890,853
給与手当	17,400,000	16,699,093	700,907
賞与手当	3,100,000	3,126,360	△ 26,360
法定福利費	5,000,000	4,653,322	346,678
福利厚生費	440,000	444,772	△ 4,772
事務消耗品費	201,000	230,825	△ 29,825
備品費	100,000	77,168	22,832
印刷製本費	1,060,000	682,496	377,504
通信運搬費	1,300,000	1,426,880	△ 126,880
光熱水費	1,000,000	1,219,650	△ 219,650
租税公課	3,200,000	4,237,743	△ 1,037,743
保険料	6,000	4,300	1,700
賃借料	330,000	298,556	31,444
リース料	2,800,000	2,487,816	312,184
連合体会費	9,000,000	9,315,000	△ 315,000
支払負担金	300,000	633,725	△ 333,725
日本社会福祉士会事務委託金	140,000	148,000	△ 8,000
交際費	100,000	58,000	42,000
業務委託費	760,000	752,004	7,996
支払手数料	274,000	230,051	43,949
保守料	3,380,000	3,542,163	△ 162,163
諸謝金	363,000	688,005	△ 325,005
講師交通費	55,000	1,820	53,180
スタッフ交通費	190,000	623,495	△ 433,495
研修費	300,000	206,260	93,740
新聞図書費	96,000	8,349	87,651
雑費	10,000	0	10,000
経常費用計	127,083,084	125,952,213	1,130,871
評価損益等調整前当期経常増減額	44,516	432,949	△ 388,433
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	44,516	432,949	△ 388,433

貸借対照表

2025年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	43,258,677	42,450,858	807,819
未収会費	0	22,000	△ 22,000
未収金	28,797,263	28,582,466	214,797
前払費用	8,525	8,525	0
仮払金	1,024,250	796,340	227,910
流動資産合計	73,088,715	71,860,189	1,228,526
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
事業運営積立金	2,040,000	1,300,000	740,000
設備整備積立金	2,040,000	1,300,000	740,000
災害対策積立金	1,070,000	700,000	370,000
事業開発積立金	2,040,000	1,300,000	740,000
特定資産合計	7,190,000	4,600,000	2,590,000
(3) その他固定資産			
什器備品	359,621	479,974	△ 120,353
長期前払費用	320,000	480,000	△ 160,000
その他固定資産合計	679,621	959,974	△ 280,353
固定資産合計	7,869,621	5,559,974	2,309,647
資産合計	80,958,336	77,420,163	3,538,173
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	8,891,223	8,648,630	242,593
前受金	33,000	22,000	11,000
前受会費	20,000	20,000	0
預り金	1,575,050	1,695,719	△ 120,669
仮受金	1,500	0	1,500
未払法人税等	72,000	0	72,000
未払消費税等	3,684,500	785,700	2,898,800
流動負債合計	14,277,273	11,172,049	3,105,224
負債合計	14,277,273	11,172,049	3,105,224
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	66,681,063	66,248,114	432,949
正味財産合計	66,681,063	66,248,114	432,949
負債及び正味財産合計	80,958,336	77,420,163	3,538,173

財産目録

2025年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額				
(流動資産)	現金 預金	手元保管 普通預金 三井住友銀行神戸営業部（普通） ゆうちょ銀行（普通） ゆうちょ銀行（振替専用） 但馬銀行/基金 定期預金 三井住友銀行 神戸営業部（定期）	運転資金として	80,732				
				33,159,252				
				30,943,641				
				1,533,936				
				678,010				
				3,665				
				10,018,693				
				10,018,693				
	未収金 前払費用 仮払金	28,797,263						
		8,525						
流動資産合計				73,088,715				
(固定資産)	特定資産			2,040,000				
				2,040,000				
				1,070,000				
				2,040,000				
	その他固定資産	什器備品 長期前払費用			359,621			
					320,000			
固定資産合計				7,869,621				
資産合計				80,958,336				
(流動負債)	未払金 前受金 前受会費 預り金 職員源泉所得税 職員住民税 講師源泉所得税 義援金 その他 仮受金 未払法人税等 未払消費税等			8,891,223				
				33,000				
				20,000				
				1,575,050				
				140,160				
				118,600				
				242,071				
				797,259				
				276,960				
				1,500				
				72,000				
				3,684,500				
				流動負債合計				14,277,273
				負債合計				14,277,273
正味財産				66,681,063				

2024 年度の決算につきまして、予算対比正味財産増減計算書の予算額と決算額との差異が大きい項目に関しまして、補足説明をさせていただきます。

① 経常収益【収入】

■事業収益

医療的ケア事業・専門員派遣・ヤングケアラーの配食サービスで大きく増収していますが、国家試験対策事業では減収している結果によるものです。

■研修センター事業収益

基礎研修・スーパービジョン・はあとなあ兵庫の養成研修・障がい福祉委員会主催研修で受講者の減少に伴い、減収しています。また、倫理綱領伝達研修・施設従事者向け虐待対応力向上研修・生活困窮者支援委員会主催研修・災害支援研修が中止により、未実施のため減収しています。

■その他雑収入

2023 年度の未収で入れ損ねた収入を挙げています。主に、地域包括支援センターの 3 職種団体の解散金になります。

② 経常費用【支出】

■事業費 給与手当

受託事業に対応する職員への見込み以上の支出によるものです。

■事業費 事務消耗品費

オンラインの活用や経費削減により、コピー用紙やプリンターインク等の購入が削減しています。

■事業費 賃借料

中止により、未実施の研修が増えたことで、会場費が削減しています。

■事業費 支払い手数料

マナブルのシステム会社への支払いと会費の引き落としの支出によるものです。

■事業費 諸謝金

中止により、未実施の研修が増えたことによるものです。

■事業費 スタッフ日当

オンライン研修が増えたことにより、オンラインでの研修においても日当を支払うことになったことによるものです。

■事業費 スタッフ交通費

オンライン研修が増えたことにより、削減しています。

■事業費 減価償却費

第 2 事務所の敷金の損金とエアコン 3 台分によるものです。補正の際に、計上が漏れていました。

■管理費 印刷製本費

総会議案集の資料を完全 IT 化したことにより、削減しています。

■管理費 租税公課

消費税は預かった消費税と支払った消費税の差額を支払います。予算との差額は預かった消費税（主に受託事業、研修費）と支払った消費税との差異が多かったことによるものです。研修の開催が減ったので預かった消費税も減りましたが、支払った消費税も事務消耗品費の支出の削減等で減っています。それに加えて、インボイスの未登録の関係により、講師謝金等で一部消費税が認められないため、想定以上に支払った消費税が少なくなったために差異が生じています。今回の決算で初めて正確な消費税の額（今までは減免額）が出ましたので、予算立てが難しく、かなり相違が出てしまったことは事実です。2025 年度の予算につきましては、今回の決算を基に補正を行います。

■管理費 リース料

補正を行う際、上半期と同等に補正しましたが、下半期はそれほどメンテナンス等がなかったことによるものです。

■管理費 諸謝金

業務の都合等で事務局職員の休日を振り替えることが難しく、振り替え休日を買取りによる対応を行ったことによるものです。

■管理費 スタッフ交通費

理事会での審議が必要な議題も増えており、それに伴い対面での理事会開催が増えたことによるものです。また、多少ですが公共交通機関の値上げもありました。

一般社団法人兵庫県社会福祉士会 2024 年度監査報告について

2025 年 5 月 4 日

一般社団法人兵庫県社会福祉士会
会 長 小 椋 智 子 様

監 事 塩 尻 点
監 事 土 谷 長 子

監査報告書の提出について

本会定款第 42 条 監事監査等に関する規程に基づき、別紙のとおり監査報告書を提出いたします。

以上

2024年度 監査報告書

本会監事 塩尻点、同 土谷長子は、一般社団法人兵庫県社会福祉士会（以下、「同会」という。）第29回総会（2024年3月23日開催）、および第31回総会（2025年3月22日開催）の議決に基づき、2024年4月1日から2025年3月31日までの期間について記載された同会の事業報告および貸借対照表、収支計算書等の計算関係書類（以下、「計算関係書類」という。）の内容について、同会理事会の職務執行状況を示す報告、説明および各種書類に基づいて監査を行いました。

それらについて、以下のとおり報告いたします。

1. 監査方法の概要

各監事は、事業報告および計算関係書類の内容について監査を行うにあたり、同会定款に基づいて理事会その他重要な会議に出席した他、本会定款、規程、規則に基づいて各担当理事、各委員会の長、事務局長および各事務局担当者からその職務を聴取し、執行状況を確認しました。生涯研修センターおよび各委員会事業の収支状況を調査し、必要に応じてその責任者に対し事業に係る活動内容の説明を求めました。

また、予算執行状況について会計担当理事および事務局担当者から説明を受け、計算関係書類、附属明細書および証憑などの各種書類を確認し検討を加えました。

2. 監査の結果

- (1) 各種事業に関する報告は、同会の事業執行状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 計算関係書類は、同会の予算執行および財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 計算関係書類、附属明細書および証憑は、記載すべき事項を正しく示しており、指摘すべき事項は特になかったものと認めます。
- (4) 理事会の職務遂行に関する不正の行為または法令違反、本会定款、規約、規程、規則、細則に違反する事実は認められません。

3. 意見

(1) 事業ごとの予算執行管理について

受託事業の予算策定と支出執行管理の精度は上がってきていますが、役員体制の変更による事業見直し等により、企画運営そのものに変更が加わるなど収支管理が不十分な事業が見られました。委託事業の消費税分預かり金管理は適切に進めていただいていますので、その他の事業についても計画と予算の精査を進め、法人全体の予算執行管理の透明性を一層上げてください。

(2) 生涯研修センターの機能強化について

基礎研修や認証研修はもとより、多様な生涯研修センター事業は、デジタル情報管理に関する用務が増えています。生涯研修センターに関わる役員と事務局・関連委員会との連携や業務分担をさらに進めてください。

社会福祉士の今日的なニーズに合致した事業開発は、会員・非会員を問わず多くの社会福祉士にアピールすることになるので、生涯研修センターの機能強化が入会促進につながることを意識して取り組みましょう。

(3) 組織体制の見直しについて

同会はソーシャルワーク専門職職能団体として多様な社会課題の解決を目指す活動をしています。専門性の高い委員会活動に加え、変化する社会の要請に応える新しい研修や啓発事業を実施するには、組織的な事業運営体制が必要です。

複数委員会の連携や委員会と地区ブロックの協働による新しい事業開発などを進め、魅力的な会活動に発展させてください。委員会活動を支える事務局業務を明らかにしていく作業も重要で、収益が確保できる独自事業を実施するためにも、同会全体の組織体制見直しは急務です。

(4) 事務局員の労務管理について

勤怠管理ソフトの活用等により、労務管理業務の合理化を進めていただいています。ただ、受託事業や研修管理のデジタル化などに伴い、専門的な業務が特定の事務局員に集中することが増えています。事務局内の業務分担見直しをした上で、計画的な勤務体制が確保できるよう努力してください。

2025年5月4日作成

一般社団法人兵庫県社会福祉士会
会長 小椋 智子 様

一般社団法人兵庫県社会福祉士会 監事 塩尻 点

一般社団法人兵庫県社会福祉士会 監事 土谷 長子